

## 【公開文】

### 臨床研究

#### 「陽子線治療を施行した肝細胞癌患者予後予測における FIB-4 index の有用性の検討」 について

筑波大学附属病院放射線腫瘍科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

#### ① 研究の目的

腫瘍径 5cm 以下で病変が一つの肝細胞癌において、ラジオ波焼灼療法が広く用いられています。一方陽子線も過去の報告で有効性について報告されてきています。肝機能は予後に影響を及ぼしますが、肝機能の測定で現在広く用いられている指標は、肝臓の合成能による影響が強く、線維化を評価できていません。FIB-4 index という指標は年齢・AST・ALT・血小板数から計算される有用な指標であるとの報告があり、手術成績の予測に有用な可能性が指摘されています。一方、陽子線治療における予後予測の有用性については報告されておらず、今回の研究で評価を予定しています。

#### ② 研究対象者

2001 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日までの間に当院にて陽子線治療を施行した、肝機能が良好で腫瘍径 5cm 以下で病変が一つである症例

#### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021 年 3 月 31 日まで

#### ④ 研究の方法

肝細胞癌に対して、筑波大学附属病院で陽子線治療を受けた患者の予後を治療開始時の FIB-4 index を用いて検討し陽子線の有効性について検討します。

#### ⑤ 試料・情報の項目

診療記録：年齢、性別、身長、体重、病因、肝機能、腫瘍マーカー、腫瘍の局在・径、標的線量/分割/治療期間、治療開始時全身状態 PS、陽子線治療開始日、陽子線治療終了日、早期有害事象と重症度、晩期有害事象と重症度、最終生存/死亡確認日、再発の有無

#### ⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 奥村敏之

#### ⑦ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 研究責任者 櫻井英幸

#### ⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の間い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている

場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線腫瘍科 奥村敏之

電話・FAX：029-853-7132 (tel) 029-853-7102 (fax)

対応可能時間：9:00～17:00